



# 金銭教育発表会

2月19日、「浦島デー」を兼ねて、金銭教育発表会がありました。1年生は、「自分たちが作ったブロッコリーに値段をつけよう」、2年生は「ボクらの労働 How much?」という課題で、全クラスが公開授業を行いました。自分たちの体験を振り返っての学習であったため、しっかりと考えることができていました。お金を通して、自分のこと、社会のこと、将来のことをしっかり見つめることができたと思います。

体育館で行われた全体会では、本校の取り組みについて、藤川先生と丸岡先生がプレゼンテーションを使ってわかりやすく発表してくださいました。最後の「私たちが学ぶここ詫間町は“浦島伝説”が語り継がれています。本校で学んだ生徒たちが、将来、立派な社会人として、ここ“浦島の里”で全力疾走してくれることを期待しています」という言葉は、生徒たちに対するメッセージでもあります。

その後、いちのせかつみ先生が「本当に怖～いお金の話」という演題で講演をしてくださいました。笑いの絶えない楽しい内容で、あっという間に80分が過ぎてしまいました。最後は、携帯電話の使い方などについて、専門的な立場からのアドバイスをいただき、とても参考になったと思います。

生徒たちのアンケートからも、「金銭教育はとても大切であり、社会に出る前に学校で勉強しておくべきものである」「もっと多くの時間を使って学びたい」などの意見が多数あり、今回の指定を受けてよかったと思いました。これからも引き続き、実践研究を続けていきたいと思っています。

## 【保護者アンケートから】(◇公開授業、◆講演)

- ◇ ブロッコリーをテーマにして、金額(価格)はどのように決められるのかがよくわかる授業でした。
- ◇ 家ではなかなか親の時給とかの話はしたことがなかったので、学校で教えてくれると仕事の大変さや一日働いてもなかなかお金にならないことを教えてもらったように思います。
- ◇ 生きていくために必要だが、どのように伝えたらよいかわからなかった。教えてもらえてよかった。
- ◆ お金の話ということで、とても難しく思っていました。いちのせ先生のとても楽しいお話のおかげで、最後まで興味を持って聞くことができました。中学生でも理解できるわかりやすい内容でした。
- ◆ 話の内容が、子どもに身近でわかりやすく、教えたい、知ってほしい内容でした。講演では、注意がとぎれないようにおもしろい話をはさむところもうまいと感心しました。
- ◆ どこまで具体的にその恐ろしさを子どもたちに伝えるかは、親だけの知識では足りない部分が多いと感じました。

## 【金融広報委員会の感想】(■は、いちのせかつみ先生)

- 授業、講演ともに生徒の聞く態度がよくて感心しました。
- 保護者の方の参加が多いのに驚きました。学校と家庭、地域がつながっていると思いました。
- これまでのキャリア教育や食育と関連させて金銭教育を研究を進められていたことがすばらしいと思いました。
- 授業における指導や講演会での回答などを見ていると、先生方に活気があり、よくまとまっていると思いました。
- 生徒たちの聞く態度がとてもよかったので、話しやすかったです。また、先生方の回答もとてもよく、あれで一気に雰囲気盛り上がりました。生徒と先生の距離がとても近いと感じました。

## アンケートにご協力ください

「浦島デー」には、多くの方にご来校いただき、ありがとうございました。つきましては、次年度の参考にさせていただきますので、別紙「詫間中学校に関するアンケート」にご協力ください。

また、これまでも、期末PTA懇談の際にご協力いただいていたまいりましたが、今回は、本年度1年間を振り返っての意見・感想等をご記入いただけたらと思います。なお、アンケートは3月1日(火)までに提出ください。また、結果については、この「浦島伝説」を通じてお知らせいたします。お忙しいとは存じますが、ご協力よろしくお願いいたします。